

高峰温泉

Takamine Onsen
(長野県小諸市)



外観

今回紹介する温泉は、高峰温泉だ。標高 2,000m にある高原の温泉である。高峰温泉へのアクセスは 3 通り。まず南にある小諸方面からチェリーパークラインを利用する方法だ。この経路は冬期でも通行可能だ。もう一つは西にある湯の丸からの林道。湯の丸高原・地蔵峠から池の平湿原を経由して、舗装されていない林道を進めば高峰温泉だ。最もアグレッシブなのは北にある嬬恋からの林道を利用する方法。但しこれらの林道は冬期には閉鎖される。

高峰温泉は浅間山周辺の登山の起点となる場所にある。浅間山、高峰山、籠ノ塔山、水ノ塔山、湯の丸山など、2,000~2,600m 級の山々がすぐ手の届くところにある。また、冬期はアサマ 2000 スキー場からスキーの途中で立ち寄ることも可能だ。スキーウェアを脱ぎ、温泉で温まり、再びスキーをする。湯冷めしないようにしっかりと厚着をしてスキーをしよう。

スキーをしない場合は、アサマ 2000 スキー場の駐車場まで雪上車がお出迎え。スキー客を横目に、ぜいたくな気分で温泉まで到達できる。

高峰温泉は基本的にはホテルであり、宿泊者のための温泉である。露天風呂は「雲上の露天風呂」と呼ばれる定員 4 人ほどの小さな木の湯船となっている。そこからの眺望は抜群だ。内湯は男湯が「高峰の湯」、女湯が「四季の湯」となっており、いずれも木の湯船が備わっている。但し、日帰り入浴の場合は、これらの風呂が利用できない。理由は、風呂が小さく、宿泊者が利用できないほどの日帰り入浴客が来てしまうからだ。従って、日帰り入浴客は、別の日帰り専用の温泉「ランプの湯」に通される。

ランプの湯について紹介していこう。浴室には 4 か所の洗い場と、木の湯船があるだけだ。木の湯船は 2 つに区切られており、一つが定員約 6 人でやや熱め、もう一つが定員 2 名で人肌の温度になっている。長湯をするなら断然後者だ。ただ、冬期は人肌の温度では寒すぎるかもしれない。

洗い場には石鹸類は一切具備されていないので必要な人は持参すること。ただ、高峰温泉では、石鹸を使わなくても体がきれいになる「創生水」をカランからの湯に使用している。創生水は常温で油と混ざる不思議な水であり、体の表面の皮脂を石鹸を使わずして洗い流してくれるという。石鹸を使うと環境が破壊される。このことを考えて創生水を導入したのだという。

ちなみに高峰温泉の湯は含硫黄・カルシウム・ナトリウム・硫酸塩泉で、糖尿病、痛風、肝臓病、便秘、胆石症に効くという。温泉の色はしっかりと白濁している。また、お世辞にもおいしいとは言い難いが、飲用も可能だ。

高峰温泉をベースにして周辺の登山をじっくり楽しむ。ここはそのような贅沢な山岳リゾートである。

- **名称**：高峰温泉
- **所在地**：長野県小諸市高峰高原
- **電話**：0267-25-2000
- **営業時間**：11：00～16：00（左記営業時間の対象は日帰り入浴のみ）
- **定休日**：無休
- **入浴料**：宿泊者は無料、日帰り入浴大人 500 円、小人 400 円（但し、冬期に雪上車を利用する場合は大人 1,500 円、小人 1,000 円）、宿泊料金は 1 泊 2 食付で 12,000 円～
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2014 年 5 月 24 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部